

チリ共和国・アントコヤ銅鉱山の操業にかかる電源の転換について

～ 2022年より100%再生可能エネルギーを使用 ～

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）が、英国・Antofagasta plc（以下、「Antofagasta 社」）と共同出資するチリ共和国・Minera Antucoya 社（ミネラ・アントコヤ社）は、2019年5月23日に ENGIE Energía Chile S.A.（以下、「ENGIE Energía Chile 社」）と電力購入契約（以下、「本契約」）を締結し、2022年以降のアントコヤ銅鉱山の操業にかかる電源を石炭火力から再生可能エネルギーに100%転換することを決定しました。

アントコヤ銅鉱山は、世界有数の銅生産会社である Antofagasta 社と共同運営する銅鉱山で、丸紅は2012年に30%の権益を取得しました。チリ北部第Ⅱ州 Antofagasta 市の北東約180kmに位置し、SX-EW 法(*)で銅地金を生産しています。2015年に生産を開始し、約20年間にわたって年間約8万トンの銅地金を生産する予定です。

ENGIE Energía Chile 社とは2014年に石炭火力を発電源とする電力購入契約を締結しましたが、本契約締結により、2022年以降、年間約300GWhの再生可能エネルギーの発電源に転換することで、CO2排出量を年間約134千トン削減します。チリにおいては再生可能エネルギー100%で操業する二番目の鉱山となります。

丸紅は、優良銅権益を確保することにより、今後銅需要の増加が見込まれる電気自動車（EV）への対応やIoT社会の発展に寄与し、日本への銅の安定供給に貢献することを目指しています。今後も長期的な視点から、環境負担低減に積極的に取り組み、更なる銅事業基盤の強化に継続的に取り組んでいきます。

(*) 溶媒抽出電解採取法。銅の浸出液から有機溶媒を用いて銅イオンのみを抽出したのちに、電気分解を行い純度99.99%の銅地金を生産する方法。

< Antofagasta 社概要 >

会社名 : Antofagasta plc (アントファガスタ社)
所在地 : 英国ロンドン
設立年 : 1888年
事業内容 : 銅精鉱及び銅地金の生産・販売事業、輸送事業、水事業
HP : <http://www.antofagasta.co.uk/>

< ENGIE Energía Chile 社概要 >

会社名 : ENGIE Energía Chile S.A. (エンジー・エネルヒア・チリ社)
フランス共和国の大手電力・ガス事業者である ENGIE S.A.のチリ子会社

所在地 : チリ共和国サンティアゴ

設立年 : 1981 年

事業内容 : 電力・天然ガス事業等、エネルギーサービス事業全般

HP : <https://www.engie.cl/>

< アントコヤ銅鉱山概要 >

所在地	チリ北部第Ⅱ州 (Antofagasta 市から北東に約 180km)、標高 1700m	
可採鉱量	酸化鉱 641 百万トン (2018 年 12 月末現在)	
生産量	地金約 80 千トン/年	
生産期間	2015 年～2039 年	
持分権益比率	会社名	権益比率
	Antofagasta 社	70%
	丸紅	30%

< 関連プレスリリース >

- ・ 2013 年 11 月 6 日

チリ・アントコヤ銅鉱山開発事業向けプロジェクト・ファイナンス契約締結の件

<https://www.marubeni.com/jp/news/2013/release/00101.html>

- ・ 2011 年 12 月 15 日

チリ共和国・アントコヤ銅鉱山開発事業への参画について

https://www.marubeni.com/jp/dbps_data/news/2011/111215.html

以 上